



2015.1.31 | VOL.121



## 茨城県PTA連絡協議会

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目5番38号  
電話：029-227-4779 FAX：029-231-3878  
E-mail：webmaster@ibarakiken-pta.ne.jp  
ホームページ：http://www.ibarakiken-pta.ne.jp  
編集：同 広報委員会

### もくじ

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1・2 茨城県PTA振興大会・表彰式典 | 6 関東ブロックPTA研究大会さいたま市大会 |
| 3 女性ネットワーク委員会       | 7 県内ホッと情報              |
| 4・6 5地区PTA指導者研修会    | 8 茨P安・茨P基金・編集後記        |

# 子どもと保護者が輝いた

## 平成26年度 茨城県PTA振興大会&表彰式典



PTA活動実践発表  
ランドセルは海を越えて  
～つくばからアフガニスタンへ～  
つくば市PTA連絡協議会



**重要** 茨P安加入申し込みは、必ず必要です。(P8参照)



## 平成26年度 茨城県PTA振興大会

in 神栖

11月15日(土)、平成26年度茨城県PTA振興大会が神栖市文化センターで開催されました。

オープニングアトラクションでは、神栖市立軽野小学校児童による市の無形文化財に指定されている「ささら舞」と神栖市立波崎第一中学校生徒による「おもしろさいれいだいこ大潮祭禮太鼓」が披露されました。2つとも素晴らしい発表で会場の皆様から喝さいを浴びていました。

記念講演は数学者・大道芸人のピーターフランクル氏。演題は「わが子が幸せになるための助言」でした。フランクル氏は多くの聴衆が見守る中、ジャグリングを行いながら登壇。

世界100か国以上を訪れ、12か国語を巧みに操つるという驚異の語学力を持ち「人間の財産は頭と心」という信念のもと、これまでのご自身の体験に基づき約90分の講演を行いました。日本の大学においては、勉強をして専門性を向上させ、自分の価値を高めるべきである、などの指摘もありました。中でも時間は誰もが平等なので、もっと大切にしてお使い。家族と一緒に時間を作ろう。物質的な財産ではなく思い出を残そう。など、学校や部活、塾で忙しい子どもたちにとり幸せとは何かを考えさせられる内容でした。



「ささら舞」



「大潮祭禮太鼓」



また、PTA活動の実践発表では、つくば市PTA連絡協議会の「ランドセルは海を越えて」の報告がありました。使わなくなったランドセルをアフガニスタンの子どもたちへ送る活動は、つくば市P連が一丸となって取り組んだものです。お金をかけず、負担にならず、そして何よりも子どもたち、大人たちが楽しんで取り組める活動にしようとした熱い思いが伝わってくる素晴らしい内容でした。

最後は、家庭教育実践事例集「愛の記録」から、神栖市の黒田さえ子さんの「子育て応援団」の朗読です。カップ麺を食べているとき、子どもに火傷をさせてしまった思い出。火傷をさせてしまった負い目よりも、カップ麺を食べさせていた母親としての後ろめたさに対して、周りの先輩ママさんたちは責めることなく大きな愛で包み込んでくれた。いつの日か自分もそんな子育て応援団になりたい。不安で自信がない後輩ママさんたちの、ちょっとおせっかいな応援団になりたい。ママからママへのタスキリレーのような、さわやかな息づかいを感じさせる内容でした。

今年も盛大に盛り上がった振興大会。参加した皆さんの単位PTA活動振興の一助になれば幸いです。

広報委員 勝田 達也

## 平成26年度 茨城県PTA振興大会 表彰式典

in 水戸



11月30日(日)、水戸市の三の丸ホテルにおいて「平成26年度茨城県PTA振興大会表彰式典」が開催されました。

県内より多くの方にご参加をいただき、式に臨む受賞者の誇らしげな姿がとても輝いていました。

おめでとうございます。





## 女性ネットワーク委員会

## 各地区女性ネットワーク委員会研修会報告

**中央地区 テーマ：「見留めてみよう自分自身，感じてみよう人との絆～育つ・育てる・育ちあうために～」**

10月19日（日），常磐大学で「中央地区PTA4ブロック合同指導者研修会」の分科会として「中央地区女性ネットワーク委員会分科会」を開催しました。

今年は，親も子どもも「自己肯定感」を持ってない現状と向き合うため，まず親である私たちが「自分をみとめる（見留める・認める）」ために，「自分の長所と短所」と「子育てで心がけていること」という2つのテーマについてグループディスカッションを行いました。1グループ4～6人で10グループを作り，女ネット委員だけでなく，単位PTAの役員さん，男性の役員さんも参加し，活発に意見を出し合いました。最後にグループごとにまとめを発表し，さまざまな考え方を全員で共有することができました。

（中央地区女性ネットワーク委員長 薄井 享）

**県北地区 テーマ：「子どもと向きあおう 深めよう“心の絆”」**

11月11日（火），県北生涯学習センターにおいて，県北地区女性ネットワーク研修会が開催されました。その中の分科会では，防犯・子育て・弁当の日について，各グループが活発な意見交換をしました。皆さんの子どもに対する熱い思いが感じられたり，子育ての悩みは皆同じなんだと安心したり，参加者の方も有意義な時間を過ごせたようでした。

県北女ネットの継続事業の「子どもが作る弁当の日」も3年目に入り，約半分の学校で実施されています。「弁当の日」を通して親子の絆が更に深まるように活動を勧めて行きたいと考えています。

（県北地区女性ネットワーク委員長 大塚 浩美）

**県東地区 テーマ：「豊かな心を育もう!子どもと親の育ちあい」**

10月18日（土），茨城県女性プラザ（レイクエコー）において，第2回県東地区女性ネットワーク委員研修会が開催されました。

第1部は，「子育ては親育ち」という演題で私立貞静学園中・高校長の新橋成夫氏による親子の関係作りのためのヒントが盛りだくさんの楽しい講演でした。第2部は，地区内の現役教師である高野真美，侑紀奈姉妹によるバイオリンとフルートのミニコンサート。日ごろの疲れを生

演奏でいやしてもらえました。新橋氏も以前神栖市の教師だったこともあり，現役の先生も多数参加し，先生とお母さんが一緒に子どもたちを思う，とても有意義な研修会となりました。

（県東地区女性ネットワーク委員長 黒田 さえ子）





## 平成26年度 5地区におけるPTA指導者研修会の報告

### 中央地区PTA連絡協議会

報告者：重藤 弘之（中央地区PTA連絡協議会会長）

開催日：10月19日（日）

開催場所：常磐大学 体育館

開催時間：12:30～16:30

参加人数：420名

参加学校数：191校

講師名又講演者名：前茨城大学学長 池田 幸雄 氏

内容：秋らしい穏やかな日差しに包まれた中、中央地区4ブロック合同指導者研修会が、常磐大学体育館にて開催されました。

はじめに前茨城大学学長である池田幸雄氏から、「天心と六角堂と茨城大学」という演題で講演をいただきました。県北の景勝地五浦海岸に佇む六角堂を舞台に、岡倉天心や横山大観と近代日本美術家たちとの交流や、茨城大学との関わりを丁寧に解説され、特に震災で滅失した六角堂の再建にまつわる苦労話は、大変興味深いものでした。

続いて行われた9つの分科会は、パーテーションを利用して館内を仕切り、一斉に行われました。「学校、家庭、地域社会の連携を担うPTA活動の在り方」をテーマに、それぞれが課題に沿った意見交換をし、実り多き分科会になったと確信しています。

最後にご参加いただいた会員の皆様と、運営を支えてくださった役員の皆様に心より感謝申し上げます。



### 県北地区PTA連絡協議会

報告者：大足 光司（県北地区PTA連絡協議会副会長）

開催日：9月20日（土）

開催場所：高萩市文化会館

開催時間：13:30～16:40

参加人数：348名

参加学校数：74校

講師名又講演者名：心の相談室with室長 竹内 成彦 氏

内容：私たちは、「家庭教育のあり方～親としての子供との関わり方～」というテーマで講演会とパネルディスカッションを行いました。

講師の竹内氏からは「今からでも遅くない！！知ってナットク、子どもの心とそのサイン」という演題で、夫婦仲が子どもの成長に大きく関わること、子どもの話を聴くための6つのコツと4つの技術の話がありました。とくに、子どもの話をしっかり聞き自尊感情という大きなプレゼントをあげることで、少々のことでは挫けない頑張りの利く、意欲的な子が育つということは全員の心に届いたと思います。

次に「青少年に豊かな人間性を培うために、私たちにできること」について話し合いました。様々な立場からの意見交換を行い、幼児、児童、生徒にどう関わっていけばよいかを考える機会となりました。

講演の前に「茨城しぐさ」運動の報告もあり、何をすべきかが具体的になった研修会となりました。



パネルディスカッションの様子



**県東地区PTA連絡協議会****報告者：**郡司 武彦（県東地区PTA連絡協議会副会長）**開催日：**11月8日（土）**開催場所：**茨城県鹿行生涯学習センター（レイクエコー）**開催時間：**13:00～17:00**参加人数：**287名**参加学校数：**83校**講師名又講演者名：**（株）越谷心理支援センター心理相談員 富田 賢史 氏

**内容：**全体会では、「子どもの心のケアを考える」をテーマにカウンセラーの富田賢史氏に子どもとの会話から文脈を見つけ出すコツや、悪いことを見つける「監視」の視点よりも良いことを見つける「観察」の視点を持つことが大切であり、文脈が見えたら上手に合わせ、魔法の言葉「なるほどね」、3つのS「さすがだね、すごいね、すばらしいね」をさりげなく使うテクニックも教えていただきました。

今更ながら「親がこうだったら自分も楽だったろうな」と思える貴重な講演でした。

分科会では5つの市の代表校が日ごろの活動や独自の取り組みを発表し、参加者との意見交換を行いました。同じ県東地区の中でも、それぞれに特色があり、質問等が相継いで時間ぎりぎりまでの充実した研修会となりました。

**県南地区PTA連絡協議会****報告者：**後藤 秀一（県南地区PTA連絡協議会副会長）**開催日：**8月9日（土）**開催場所：**牛久市中央生涯学習センター**開催時間：**12:00～16:40**参加人数：**663名**参加学校数：**243校**講師名又講演者名：**平山 和紀 氏、麻生川 敦 氏、平野 憲 氏

**内容：**研修会前半は、「東日本大震災シンポジウム～そのとき子どもたちを守るために～」を開催。大きな津波被害を受けた宮城県にて校長を務められた先生方から貴重な被災体験を伺った。役立ったそれまでの訓練、とっさの判断など緊迫したお話しの数々。震災の記憶は、決して風化させてはならないと実感しました。



東日本大震災シンポジウム

後半は、4つのPTAより実践発表。3校が統合され誕生した石岡市立八郷中学校PTAからは、統合過程での苦労や新たな歩みについて。つくば市立小野川小学校PTAからは、小中一貫教育における地域色を生かした活動について。河内町立金江津中学校PTAからは、生徒会や保護者が宣言を示し取り組むネットいじめ防止活動について。取手市立宮和田小学校PTAからは、特色ある全員参加型の活動について。

研修会を通して、改めて子どもたちを育む思いを共有する機会になりました。



ネットいじめ防止に取り組む金江津中学校PTA



## 県西地区PTA連絡協議会

報告者：斎藤 康（県西地区PTA連絡協議会副会長）

開催日：10月13日（月）

開催場所：結城市民文化センター アクロス 大ホール

開催時間：12:30～16:15

参加人数：1,064名

参加学校数：152校

講師名又講演者名：名越 康文氏

内容：県西地区PTA指導者研修会では「子育ての処方箋～いまどきの子どもたちの心理～」の演題で精神科医・タレントでもある名越康文氏を講師として呼びし

て講演会を開催しました。講演の中で子どもとの接し方について、向き合う・考えを聞く・褒める等々大人が何かをしながらではなく、手を止めてきちんと接することが子どもの精神形成に大切だということを学びました。そして子どもに対して怒るのではなく、一度深呼吸してから叱るに変えなければいけないということを気付かされました。基本的な考え方かもしれませんが、意外と忘れがちなことを改めて聞くことによって心の奥底に響きました。これからはできるだけ多くの人の心を整え、一人ひとりが持つ力の最大限発揮できる状態をつくれるよう努力していきたいと思います。



## 関東ブロックPTA研究大会さいたま市大会 参加報告

第46回関東ブロックPTA研究大会が、10月25日（土）・26日（日）の2日間にわたり、「ささえ合い いのち尊び たくましく まごころつなぐ 子どもたちに～五つのことだま 子は親の鏡 生き抜く力を子どもたちに～」を大会スローガンに掲げ開催されました。

25日（土）は、8分科会に分かれての参加になりましたが、私が所属する日立市P連の仲間である「成沢小おやじの会」を応援すべく第1分科会「地域連携」に参加しました。

講演では、「絆」つながっていますか？家庭・学校・地域をつなぐ親の役割、を研究テーマに「たくましくしなやかな子どもたちを育むため 今大人が考えすべきこと」と題して埼玉大学教育学部准教授の菊原伸郎氏が、ご自身のプロサッカー選手だった過去を交えながら、教員・親としての立場で、子どもたちへの接し方や見守り方などを話されました。

研究発表では、地域親として活動する「成沢小おやじの会」今野幸樹会長が、お父さん出番ですよ！と会を立ち上げた経緯や、実際の活動内容を詳しくDVDを交えながら説明され、おやじ背番号・規約にまつわることを、会場に笑いを誘う軽妙な語り口で話されたのが印象に残りました。

また、静岡市立清沢小学校PTA「清沢てんぐの会」では、「みんな我が子」と題して小規模校だからこそできる行事を、ほとんどが消防団員であるお父さん方が主体となり、子どもたちの笑顔が絶えない地域作りを目指している姿勢に感動致しました。



沢田知可子氏

26日（日）は、全体会記念講演で「ココロとカラダに優しい歌葉（うたぐすり）」と題し、歌手の沢田知可子氏がミニコンサートを行いました。ご自身がさいたま市出身でお父様がPTA会長をしていた縁もあり、お忙しい所を快く引き受けていただいたそうです。

21世紀に残したい泣ける名曲第1位に選ばれた「会いたい」など6曲を聴かせていただきましたが、なかでも「GIFT」は生きる力をテーマに、人間力大賞厚生労働大臣奨励賞を受賞した名曲で、会場からは感動ですすり泣く声が続いていました。

平成28年度第48回大会は茨城県で開催されます。8がつづく末広がりな縁起のいい大会です。皆で協力しながら、無事に開催できるように準備しなければ、と考えさせられるさいたま市大会となりました。



熱く語る今野会長

広報委員 金川 勝也





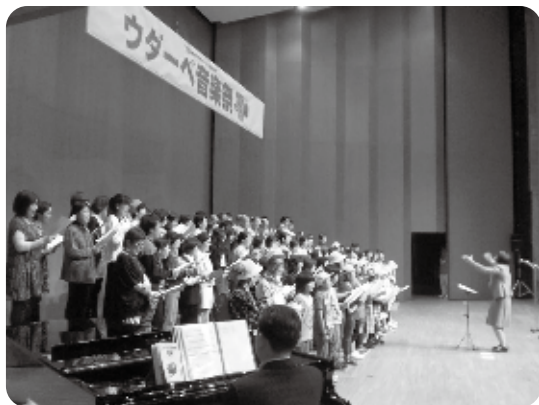
# 県内ホッと情報

## 小学校の校歌、歌えますか？ ウダーベ音楽祭

中央地区

常陸大宮市は市政10周年を迎え、これを記念してさまざまな行事が行われました。その中でひととき盛り上がったイベントとして10月18日（土）に常陸大宮市ロゼホールで実施された「ウダーベ音楽祭」をご紹介します。

この音楽祭の名前の由来は、歌を「歌おう」を茨城弁で「うだべ」と表現し、これをもじったもので常陸大宮市町づくりネットワークの方々から発案され、



市P連にも後援という形で協力していただきました。

市内にある11の小学校と、統廃合で、現在で歌われることのなくなってしまった27校を加えた、計38校の校歌を児童・保護者、卒業生と一緒に歌うことができました。

各単Pにもお手伝いをいただき、地域の方々と校歌を通じて触れ合えた素晴らしいイベントでした。

（常陸大宮市立大賀小学校PTA会長 横山 孝浩）



まつぎてんじんじゃ

## 松崎天神社で相撲大会

県西地区



ブロックに分かれ、優勝をめざして相撲をとります。全児童参加で一生懸命取り組むため、保護者や地域の方の応援にも熱が入ります。

相撲大会の企画・運営は氏子の皆さんですが、PTAも協力して大会を盛り上げています。これからも子どもたちのために、伝統ある地域の行事を大切にしていきたいと思っています。

（坂東市立内野山小学校PTA会長 木村 憲夫）

天神社相撲大会は、毎年10月25日に行われています。50年ほど前までは、大人が地区対抗で行っていましたが、その後中止となり、昭和52年に児童を対象とした相撲大会として復活しました。その後30年以上も続いている伝統ある行事です。子どもたちには、地域の方がまわしをつけてくれます。そして、それぞれ自分の考えた「しこ名」で呼び出され、相撲をとります。もちろん「行司」も子どもです。子どもたちは、男女別に低・中・高の学年ブ





## 茨城県PTA安全互助会

平成27年4月1日から

### 茨城県PTA安全互助会 → 一般社団法人 茨城県PTA安全互助会へ

会費は従来どおりですが、給付内容はより充実します。PTA等共済法に沿った給付になるため、これまでの見舞金が共済金及び見舞金の2本立てとなります。

#### 1 共済金

| 共済金の区分      | 共 済 金 額                | 共済金の区分 | 共 済 金 額             |
|-------------|------------------------|--------|---------------------|
| ①死亡共済金（傷害）  | 2,000,000円             | ⑤手術共済金 | 20,000円～<br>40,000円 |
| ②死亡共済金（突然死） | 1,000,000円             | ⑥疾病共済金 | 5,000円～<br>30,000円  |
| ③後遺障害共済金    | 60,000円～<br>2,000,000円 | ⑦入院共済金 | 30,000円             |
| ④負傷共済金      | 5,000円～<br>120,000円    |        |                     |

#### 2 見舞金

| 給付の種類 | 給付要件（PTA活動中）          | 給 付 金 額           |
|-------|-----------------------|-------------------|
| 眼鏡見舞金 | PTA活動中に眼鏡を破損したとき      | 実費 2万円限度          |
| 香料見舞金 | PTA活動中の如何に関わらず、死亡したとき | 一律 1万円            |
| 賠償見舞金 | PTAが、法律上の賠償責任を負ったとき   | 対人最高2億円、対物最高500万円 |

※ 詳しいことは、利用の手引き（各加入校3部配付）及び家庭配布用のチラシをご覧ください。（1月下旬配付）

加入を希望される単位PTAは

**加入申込みを忘れずにお願いします。（2月中です）**

※ 加入方法も従来どおり単位PTAごとの一括加入となっております。

ご不明な点は、茨城県PTA安全互助会事務局（TEL：029-228-4707）までお問い合わせください。

なお、一般社団法人茨城県PTA安全互助会になっても、事務所の所在地や電話番号及びEメールアドレス等の変更はありません。

## 茨城県PTA基金管理機構

○ 本会の事業は厚生援助金（保護者の方が死亡したとき）及び教育振興助成金（各校のPTA活動振興のための助成金、ただし茨城県PTA安全互助会加入校のみ対象）を交付しています。

・平成26年度の給付状況は次のとおりです。

|         |      |       |
|---------|------|-------|
| 厚生援助金   | 101件 | 303万円 |
| 教育振興助成金 | 18件  | 384万円 |

#### ● 事業終了のお知らせ

本機構の事業は設立当初から基金がなくなり次第、終了することとなっており、平成26年12月末の残高から推計し、下記の予定で終了することとなりました。

- ① 厚生援助金 ー平成27年度末（平成28年3月31日）までを給付の対象とする。
- ② 教育振興助成金 ー平成27年度第1回（平成27年6月30日締め切り）の申請で終了とする。  
助成対象事業は、平成28年5月31日実施分までとなります。

申請に際しましては、期日にご配慮くださいますようお願いいたします。

※ 組織としては、平成28年度末までの事務処理を行います。

#### 編集後記

子どもの頃、日曜日のサザエさんを見ると「明日から学校か」と憂鬱になりました。今とは違い一週間が長いと思っていました。実際に子どもの頃は毎日が新しい体験の連続で、時間が長く感じるそうです。PTA活動に携わってから時間の流れもそれまでと違った感じがします。新たな出会いと体験、学びの所以（ゆえん）でしょう。PTA活動の喜びと楽しさを広報でお伝えしたいと思います。（広報委員 海老澤 裕之）